



人と本の出会い × 人と人の出会い

# 図書館学生ボランティア紹介

## 名古屋図書館サポーター トツポ

本・図書館好きによる、図書館をより親しみやすくするための、楽しいイベントの企画・展示などを学生の目線で行うサークルです。



イラスト：吉田 緑さん

名古屋図書館サポーターのマスコットキャラクター「トツポくん」です！

**Profile**

「図書館サポーター」を略して「トツポ」としたのがはじまりです。トツポくんはサークル 営業委員長で、愛大図書館の利用促進がお仕事です！

### ラッピング図書

本を直感で借りてみようという企画。何が入っているかは開けてからのお楽しみ。今後も面白い企画を定期的に行っていきます。



### 図書展示「新潮文庫の100冊」「百年文庫」

貸出冊数を増やすための企画として、今年度は2つの図書展示を行いました。目を引くカラフルな展示で大好評でした。



### 2014年度活動報告

### サークル紹介「二胡部(知音)」 「国際協力団体SEED」

中国の伝統楽器「二胡」を奏する二胡部と、フェアトレードの推進活動を行う「SEED」にスポットをあて、部の魅力と関連図書を紹介するコーナーを設置しました。



### 読書マラソン

大学生協とのコラボ企画! 大学4年間で100冊以上の読書を目指す企画を紹介しています。みなさんも本を読んでコメントを書いてみよう!



## 豊橋図書館サポーター・図書館好きの学生の会

本が大好きな学生が集まって活動中。みんな豊橋校舎の図書館が大好きです。本が好き、熱意がある方大歓迎、メンバー募集中です！



豊橋図書館サポーターのマスコットキャラクター「本蔵」です！

**Profile**

愛知大学の図書館に住んでる本蔵だよ!好きなものは本!嫌いなものは水! twitterアカウントは@aichihonzouだよ!図書館に関しての有益な情報を発信しているよ!気軽にフォロー待ってるよ!よろしくね!

**舟橋 良音**

文学部日本史専攻4年の舟橋良音です。お喋りと本が大好きです。新しい本に出会うドキドキ感が好きでよく図書館をウロウロしています。愛大図書館をもっと魅力ある図書館にするために活動していきたいです。



**藤田 智美**

はじめまして! 文学部人文社会科学の藤田智美です。心理学を専攻しています。最近の本蔵くん(@aichihonzou)のフォロー一挙がなかなか伸びないことが悩みです。図書館をもっともっと使いやすしいものにしていきます!



**下地 智恵**

初めまして。文学部4年の下地智恵です。図書館情報学を専攻しています。趣味は散策と読書です。皆さんにとっての図書館が心地よい場所になるよう頑張っていきたいです。



**竹村 友里**

本、漫画、音楽、動物、旅行を好んでいる愛大文学部の竹村友里です! 学生生活残りわずかなので、この会に貢献できることは数少ないかとは思いますが、何卒よろしく願います! 所属サークルはアカベラサークル! いろんな本が読みたいナ!



**佐藤 桃香**

文学部3年生の佐藤です。本と鳥と音楽が好きです。少しずつではあるものの、会の知名度が上がってきていることが嬉しい今日この頃。図書館の魅力さをさらにお伝えできよう頑張りたいと思います。



**秋山 菜野花**

世界史専攻2年の秋山菜野花です。本と音楽が大好きな文学少女かつ歴史女子です。多趣味なおかげで好きな本のジャンルも真面目な歴史書から外国文学、推理小説、さらにはライトノベルまで多岐に渡っています。図書館は私の憩いの場!なのでもっと多くの方々にご利用いただけたらと思います。



わたしたちがあなたに  
オススメの1冊をセレクト!

# Supporter's selection!!

## 名古屋 池田藍香さんのイチオン

**『分身』**  
東野圭吾 著 (集英社)1996  
名図開架 913.6:H55  
豊図開架 913.6:H55

全く同じ顔の二人の女性のお話です。その二人の女性が出会ってから、自分の生い立ちに違和感を感じ、謎がどんどん深まっていきます。そして彼女らはその謎を解きあかそうと決意します。なぜこの二人の女性が瓜二つで生まれたのかが見所です。

## 名古屋 入江貴大さんのイチオン

**『タイム・ラッシュ 天命探偵 真田省吾』**  
神永学 著 (新潮社)2010  
名図文庫 913.6:Ka37

天命探偵シリーズ第1作目の作品です。ミステリー要素+アクション要素とあった作品で、非常にテンポ感が良くどんどん読み進めることができています。読みやすい作品なので、軽い空き時間にサクッと読んでみてはいかがですか。シリーズ続刊も図書館にありますので是非読んでみてください!!

## 名古屋 服部沙彩さんのイチオン

**『図書館戦争』**  
有川浩 著 (メディアワークス)2006  
名図開架 913.6:A71  
豊図開架 913.6:A71

2007年から話題になった。小説だけでなく、漫画、映画とも幅広く知られた一冊です。架空の現代日本を舞台に、不当な検閲から本を守ろうとする図書館員たちの戦いと日常を描いたエンターテインメント小説。本好きならもちろん恋愛好きの人にもおすすめの一冊です!!

## 名古屋 吉田 緑さんのイチオン

**『こんな話を聞いた』**  
阿刀田高 著 (新潮社)2007  
名図文庫 913.6:A94

全18話の冒頭に、「こんな話を聞いた」から始まる逸話を添えた短編集。多種多様な逸話がこれから始まる物語の内容を想像させてくれて楽しい。本編自体は、逸話とは異なり日常のところが面白い。それでも、逸話も本編も示すところは同じ。つまり、人の本質はそうそう変わらないのだ。

## 名古屋 永谷瑛里香さんのイチオン

**『変身』**  
カフカ 著 / 高橋義孝 訳 (新潮社)2011  
名図文庫 943:Ka15

ある朝、気がかりな夢から目を覚ますと男は自分が一匹の巨大な虫になっていることに気づく。それにもかわらず普段とかわらぬ日々が無常にも過ぎていく。なぜこのような異常な事態が起こったのか…。読者により様々な解釈ができるこの作品は海外文学の最高傑作の一つと言われる。

## 名古屋 弓矢菜奈さんのイチオン

**『暗いところで待ち合わせ』**  
乙一 著 (幻冬舎)2002  
名図開架 913.6:O87

犯人として追われるアキヒロは、視力をなくし、独り静かに暮らすミチルの家に逃げ込んだ。ミチルは人の気配に怯えながらも身を守るために知らぬ振りをする。そして二人の奇妙な同棲生活が始まる…。

## 名古屋 小島友里亜さんのイチオン

**『読書力』**  
齋藤孝 著 (岩波書店)2002  
名図文庫 080:1952:d801  
豊図文庫 019:Sa25  
(外)車図開架 081:1957:801

読書についてのハウツー本かと思って読んでみました。まず「文庫本100冊+新書50冊=読書力がある」と定義づけるのは分かりやすいと思いました。読んでいてこの人は本当に本が好きなんだと思いました。いい緊張を持ちながら読書はありましたことなので、本に紹介されていた本を少しずつ読みたいです。読書人にオススメの一冊です。本を読む姿勢を考えさせられる本でした。

## 名古屋 西山小晴さんのイチオン

**『失はれる物語』**  
乙一 著 (角川書店)2006  
名図開架 913.6:O87

これぞ二ワールドの集大成! 事故で五感を失った私。唯一残されたのは触覚だけだった。ピアニストである妻は私の腕を鍵盤代わりに日々の想いを演奏することを思いつく。それは触覚だけ残された私の唯一の救いであった。しかしそんな家族のため、彼とはある決心をする。他短編6作収録。どの話とも印象深く、気軽に読める一冊です。

## 名古屋 目黒識貴さんのイチオン

**『神の守り人』**  
上橋菜穂子 著 (新潮社)2009  
名図文庫 913.6:U36:1(上/来訪編)  
913.6:U36:2(下/帰還編)

この本は、上橋菜穂子さんの守り人シリーズの一作で主人公バルザが絶対絶命の危機に立たされた兄妹を救おうとして陰謀に巻き込まれていくお話で、私が守り人シリーズで一番おすすめする本です。バルザの鮮やかな短槍さばきも見ものですが、様々な仮面の国の食べ物も魅力の一つです。

## 名古屋 中村直美さんのイチオン

**『図書館に訊け!』**  
井上真琴 著 (ちくま新書)2004  
名図開架 015: I57  
豊図開架 015: I57  
(外)車図開架 081:C44:486

元大学図書館員が図書館を使い倒すための方法や使うために必要となる図書館用語を大変わかりやすく解説した本です。2004年発行と少し古い本ではありますが、大学生の皆さん図書館にある広大な資料・情報へ案内してくれます。この本を読み、ぜひ図書館でいろいろ読んでみてください。

## 名古屋 久野高裕さんのイチオン

**『柔道の神様』とよぼれた男: 空気投を生んだ三船久蔵十段』**  
嶋津義忠 著 (PHP研究所)2013  
名図開架 789.2:Sh46

柔道一筋に生き、稽古に稽古を重ねて鍛錬に励んだ伝説的人物。三船久蔵の生涯が紹介されています。小柄な船氏が「柔よく剛を制す」ことを実践するために、自分の力を最も有効に使う手段をいかに研究していたかが伝わってきます。柔道修行の究極目的である「己を完成し、人を補益する」ことを常に意識して打ち込む姿勢には感銘を受けました。

## 名古屋 浜里敏大さんのイチオン

**『新トヨタ式「改善」の教科書 世界No.1に導いたものづくりの原点』**  
若松義人 著 (東洋経済新報社)2014  
名図開架 509.6:W21

リーマンショック、北米におけるトヨタパッシング、そして東日本大震災。数々の大きな危機を乗り越えて奇跡とも言える復活を遂げたトヨタ。その要因には「トヨタ式」の再徹底という原点回帰がありました。オレ流・オレ式を貫くのもいいですが、大切なことは普段から意識すること。その意識を組織全体で共有することです。

## 豊橋 舟橋良音さんのイチオン

**『室町人の精神』**  
桜井英治 著 (講談社)2001  
豊図開架 210.08:N71:12  
名図開架 210.08:N71:12

「生活苦から家宝を売る」日本の貴族がここまで生活に困窮していた時代があった事をご存知ですか?日本のトップにいたはずの天皇や貴族たちが教科書にも載っていない室町時代、彼らがこの逆境をどのように生き延びたのかを垣間見る事が出来る一冊です。華やかな金閣寺を建立した足利義満の時代、ドラマのような人生を読んでみてください。

## 豊橋 藤田智美さんのイチオン

**『手紙』**  
東野圭吾 著 (毎日新聞社)2003  
車図開架 913.6:H55  
名図開架 913.6:H55(文庫)

皆さんはニュースを見たとき、犯罪者の家族について考えたことはありますか?突然強盗殺人犯の弟となった直貴。どんな出来事が起きても、「強盗殺人犯の弟」というレッテルが彼の幸せを奪う。「普通の人間」になるため直貴は必死にがんばっていく。

## 豊橋 下地智恵さんのイチオン

**『その日のまえに』**  
重松清 著 (文藝春秋)2005  
豊図開架 913.6:Sh28  
名図開架 913.6:Sh28(文庫)

自分や大切な人がこの世から居なくなってしまうとしたら貴方ならどうしますか?この本には同級生や家族といった周囲の人々との別れが描かれています。遺す人、遺される人、受け止め方は人によって様々です。その日、この本を開いてみて下さい。目の前に広がる世界がより愛おしいものになって見えるかもしれません。

## 豊橋 竹村友里さんのイチオン

**『世にもおもしろい英語』**  
小泉牧夫 著 (IBCパブリッシング)2014  
豊図開架 830.4:K638

「Cloud nine」、「Disneyland daddy」、「green with envy」あなたはこの意味、わかりますか?直訳すると「雲9」「ディズニーランドの夫」「嫉妬と緑」。ですが、答えは左から「最高に幸せ!」「別居している夫!」とでも嫉妬している。なぜこのような意味になるのか、わかりますか?それには深く、あっと驚くような理由があるのです。英語って面白い!と読んで後、ついつい言ってしまう一冊。是非一読あれ!

## 豊橋 佐藤桃香さんのイチオン

**『ソロモンの指環』**  
コンラート・ローレンツ 著 / 日高敏隆 訳 (早川書房)1975  
豊図開架 481.78:L88  
車図開架 481.78:L88 ほか

「刷り込み」という言葉だけでもご存知の方は多いではないでしょうか。「ソロモンの指環」には、この現象を発見した動物行動学者、コンラート・ローレンツによる様々な動物の生態が綴られています。生物に特別興味なくても楽しんで読める一方で、動物だけでなく人間の本性についても考えさせられる本です。

## 豊橋 小野秀之さんのイチオン

**『世に棲む日日』**  
司馬遼太郎 著 (文藝春秋)1973  
豊図開架 918.68:Sh15:27  
名図開架 918.68:Sh15:27 ほか

吉田松陰、高杉晋作、長州の倒幕運動を牽引した師弟の生涯を鮮やかに描いた傑作です。「おもしろきこともなき世を おもしろく すみませぬものは心なりけり」有名な高杉の辞世の句ですが、本書を読めば味わいが倍増。生きる意味についても考えさせられます。来年の大河ドラマより楽しめるはず。是非一読を。